

小倉山通信

平成27年10月16日
No.24

後学期始業式 秋晴れとともに始動

秋季休業中は、時ならぬ雨に見舞われ、気温も11月上旬並みの低さと、あまり天候に恵まれない1週間でした。

本日から後学期がスタートしましたが、天気は見事に秋晴れ、私たちの出発を祝ってくれているようです。

秋季休業中に、美郷町新人駅伝競走大会が、美郷中学校の前の周回コースで10月14日(水)に行われました。本校は男子5位、女子3位と、ともに入賞することができました。選手の皆さん、お疲れ様でした、そして、ありがとうございました。

今回は、美郷町駅伝の結果と、始業式での発表生徒の内容を掲載したいと思います。

◎ 第11回美郷町中学校新人駅伝競走大会 第5位

() は最初が全体順位、後ろが区間順位
区間は周回コースですべて2.9km

- 1区 青山澪さん9分30秒(2,2)
- 2区 高貝柊斗さん10分02秒(5,7)
- 3区 能美勇樹さん10分01秒(5,2)
- 4区 能美力也さん10分27秒(4,8)
- 5区 高橋太陽さん10分26秒(5,7)
- 6区 茂木里久さん10分24秒(5,5)

計 1時間00分50秒

◎ 第8回美郷町中学校新人駅伝競走大会 第3位

() は最初が全体順位、後ろが区間順位

- 1区が2.9km、2区から5区は1.9km
- 1区 佐藤里緒さん10分42秒(4,4)
- 2区 藤原舞さん 6分39秒(5,5)
- 3区 藤川陽向さん6分59秒(4,6)
- 4区 大澤ゆき乃さん6分49秒(2,1) 区間賞
- 5区 藤枝愛美さん6分57秒(3,6)

計 38分06秒

第4区で大澤ゆき乃さんが区間賞を受賞しました。おめでとうございます。



始業式 後学期への抱負 各学年代表の発表

始業式で最初に各学年1名ずつの代表者から「後学期に向けて」の発表がありました。

後学期に向けて

1年C組 鎌田 菜緒さん

男子はうるさく、女子はおとなしすぎ、ま

とまっていないクラス。これは私のクラスの1Cの前学期前半の状態です。しかし、様々な行事を通して、クラスの団結力が増してきたことを実感できた前学期の最後でした。

中学校に入学して半年以上が過ぎました。すべてのことが初めてで、戸惑うことや楽しいことがたくさんありました。その中で小学



校と中学校で違うことの大きな一つは、クラスへの思いだと感じ始めています。小学校でももちろんクラスはありますが、中学校と大きく違うことはクラスの絆の深さです。中学校での様々な学校行事は小学校と違い、すべてクラスの団結力が試されるものばかりです。うまくまとまらなかったり、意見がぶつかったりすることでクラスの絆が深まることの大切さを中学校では学んでいると感じます。合唱コンクールの練習では、朝練習もあり、どのクラスも大変だったでしょうが、1Cでは遅刻すると山口先生とマンツーマンで歌練習するルールがあり、かなり過酷でした。最初は遅刻する人が何人かいましたが、その練習だけは避けたいと全員が集まるようになりました。そのうちにクラスがまとまり出てきて、朝から練習することが普通になってきました。合唱コンクールでは、思ったような賞はとれず、みんながっかりしてました。しかし、コンクール終了後、私が所属しているオケ部が片付け等で遅れて学校に到着したのですが、教室に戻ると黒板に指揮者と伴奏者に「ありがとう」というメッセージが書かれていました。さらにみんなが拍手で私たちを迎えてくれました。そして全員がお昼ご飯を食べずに私たちオケ部を待っていてくれました。本当にうれしく、1Cの一員でよかったなと感じた瞬間でした。

後学期は、さらに1Cの絆を深めていきたいと思っています。1Cは、男女関係なく気軽に話ができて、自分の係以外の人気が付いたらやってくれるクラスになりました。さらに明るく楽しく、面白い人がたくさんいます。では自分がクラスのためにできることは何かと自分なりに考えた結果、「困っている人がいたら助ける」「物事をもっと積極的にやる」という二つを実践したいと思っています。今回の作文発表を決める際、後学期スタートの作文なので勇気を出して、自分から手を挙げました。小学校から今まで、私は人前で話すこと

は苦手で自分から発表するなんて信じられないと思っていました。しかし、1Cのためになにか頑張ろうと思った時に、自然と勇気がわいてきて手を挙げていました。後学期は自分の立てた目標に向けて努力し、さらにクラスの絆を深めていきたいです。そして、前期同様に部活と勉強の両立を頑張っていきたいと思います。

後学期の目標

2年A組 大信田 ほのかさん

後学期の目標を発表する前に、少し前学期のことを振り返りたいと思います。

前学期、私はいろいろな経験をして自分自身変わったと感じています。一年生のときは、いろいろな友達や先生方と話をすることがあまりなかったのですが、自然に話ができる自分にびっくりしています。2年A組という学級も楽しくて、担任の赤上先生や友達と校内記録会や合唱コンクールなどの思い出ができました。また、すすかけ祭の劇に出演することができてとてもうれしかったです。

さて、いよいよ後学期です。後学期に向けて頑張りたいことは、学習と部活動の両立です。特に学習面では、授業中、積極的に発表したり、一人勉強に今まで以上に組み込んで、少しでも今の学力より向上するように、頑張っていきたいです。

また部活動はソフトテニス部に所属していますが、技術の向上はもちろん、チームで目標に向かって頑張る雰囲気をみんなでつくっていききたいと思います。後学期は修学旅行という私にとって、一番楽しみにしている行事があります。みんなと最高の思い出をつくりたいです。

最後に目標である学習と部活動の両立を自分なりに「精一杯やった」という思いがもてるように、そして、前学期で感じた自分は変わることができる、という思いがもてるように、一日一日を大切に後学期の生活していきたいです。先生方、後学期もご指導よろしくお願いします。



進路を決めるために

3年D組 鈴木佳穂さん

私は、進路に関わって自分のこと、学級のこと、学年のことの3つについて話します。

まずはじめに、自分のことです。3年生となり、部活が終われば勉強することにな

るとぼんやり思っていました。でも、部活が終わると、ちょっとした解放感があり、勉強にあまり身が入らない自分がありました。そのため、自分に返ってきた実力テストの点数は進学に向けて不安だけが募る結果でした。入試まであと5ヶ月。自分の進学先を決めるまで、あと3ヶ月くらいです。この3ヶ月を使って点数を伸ばすために、テストの中味を分析して、得意分野は難易度の高い問題を、不得意分野は基本をくり返し学習して点数を取りこぼさないように勉強します。それから、勉強時間を最低でも平日は3時間、休日は6時間を確保し、受検勉強に追い込みをかけたいと思います。そして、自分が希望する高校に合格するために一日一日を大切に使いたいと思います。

次は、3年D組のことです。私は、クラスの副委員長としてクラスのことを考えるようになりました。合唱コンクールでは、はじめは音があまりとれておらず、みんなで歌っても全然ダメでした。でも、朝・昼・放課後と毎日音とりやパート練習をしました。そして、どんどんよいハーモニーになっていきました。ゴルハモはとれなかったけれど、みんなで今できる最高の合唱ができたと思うのでよかったです。この経験を活かし、この仲間と過ごす時間を楽しみ、大切にして、みんなで受検をのりきる雰囲気づくりに励みたいと思います。

最後に青嶺学年について話します。私は、代表委員として学年の仕事もこなしました。前学期は、青嶺プロジェクトとして学年集会に力を入れ、テーマに合ったスピーチをしてもらいました。前学期のうちに全員はできませんでしたが、みんなの前で発表する機会を多くもつことができました。入試には面接もあります。自分の意見や考えをしっかりとち、まとめてから話すことが大切です。だから、授業でも集会でもこのことを心がけて話すようにしましょう。そして、これからは青嶺学年全員が、自分が決めた進路を進めるように、たくさんの先生や地域の人々が指導してくれます。そして、この102人がお互いに支え合って中学校生活のゴールを目指します。私たち青嶺学年は、みんなに支えられているということを忘れずに頑張っていきたいです。これからも、私たちの学年をやさしく見守っててください。受検という壁をみんなで突破しましょう。

